



「森の家」冬期営業について

「森の家」、3月中は毎週土日と祝日の10時～16時開館となります。
公園のトイレはレストハウス、ピクニックテラス脇、第2駐車場、ちびっこ広場の4カ所が閉鎖のため、冬期間のトイレは展望台西側公衆トイレか「森の家」(開館時)をご利用ください、よろしくお願いします。

キクイタダキ

3月の旭山で比較的好く見られるキクイタダキが今月号の特集です。

●キクイタダキとは

スズメ目キクイタダキ科キクイタダキ属で、北海道と本州中部以北の山地に生息しています。
針葉樹に依存した鳥で、繁殖や採餌を主に針葉樹で行い、故にほとんど針葉樹で見られます。

●旭山では冬の鳥

キクイタダキは留鳥で1年中見られますが、旭山では夏季の目撃例がほとんどなく、10月から4月に見られる冬の鳥です。

●名前の由来

黄色い頭頂部が「菊の花を戴いた」ように見えるのがその由来です。
雄は頭頂部の黄色い部分に赤い羽が混じっていますが、動き回るため野外での観察は大変で、写真で後から分かることがあります。(写真2枚目)

●日本でいちばん小さい鳥

キクイタダキは全長(嘴の先から尾の先までの長さ)が約10cm、翼を開けた長さが約15cm、体重3-5gと日本でいちばん小さな鳥です。
ちなみに2番目に小さな鳥はミソサザイ、ヒガラ、キバシリといわれていますが、その3種も旭山で見ることができます。

●声もか細い

飛んだり餌を探したりする時に「チィチィ」とか細い声で鳴きます。

●囀りをしない? わけではないけれど...

図鑑には「チッチツーツーチリリー」などと囀ると記されていますが、旭山では囀りの声を聞くことはほとんどありません。
これは、夏季に旭山では見られない⇒旭山では営巣・繁殖していないことと関係がありそうです。

●翼の目玉模様は擬態!?

キクイタダキの翼には、後ろから見ると目玉に見える模様があります。
蝶や蛾などでは、目玉模様を敵(捕食者)に見せることで蛇などの動物がいるように騙して警戒させる「擬態」が多く見られますが、キクイタダキの目玉模様は「擬態」ではないのでしょうか? (写真3枚目)

しかし、ネットで調べたところ、そのような記述にはゆきあたりませんでした。

「擬態」ではないにしても目玉には見えますが、いかがでしょうか?

3月はキクイタダキの姿を求めて旭山の針葉樹を巡り歩くのはいかがでしょうか。

足音にかき消されるほどの小さな鳴き声が、木の中のどこかから聞こえてくるかもしれないですよ。



「早朝野鳥観察会」次回の日時

☆「早朝野鳥観察会」2017年3月11日(土) 8時～10時頃まで ※双眼鏡貸出あります
参加費100円(保険代) 定員:15名(先着順) ■見られる鳥:アカゲラ、ベニヒワ、エナガ等
◎「早朝野鳥観察会」は2月以降毎月第2土曜日を予定しており、4月は8日に行います。
2017年は4～6月にその他数回野鳥観察会を行う予定です。詳細をお待ちください。

アカゲラの「春の音」 3月編

アカゲラは2月から雄同士の争いが観察されます。

右写真のように雄同士向かい合って木にとまり、頭を上に向けて首を降ろしぐさを繰り返した後、どちらかの個体がもう片方を追い払うように飛び、2羽で追いかっこをするような行動が見られます。

この時は「キャッキャッキャッ」というまるでしゃべりのような声を出しますが、他の季節にはこんな声を聞くことはできない、「春の音」です。

ペアの相手が決まった4月にはまた別の行動が見られ「春の音」が聞かれますが、それはまた来月号にお話ししたいと思います。(続く)



2017年1月の旭山野鳥情報

●シマエナガ:そろそろ繁殖に向け群れが分散する時期ですが、「森の家」周辺でも日に何度か見られます。

●ベニヒワ:10羽ほどが残っていましたが、3月下旬になると移動に向けて数が増え、同時に雄の胸の赤い部分が広がってきます。

●アトリ:まだ数羽が時々見られます。

●マヒワ:少数の群れが時々見られますが今年は少ないです。

●ウソ:声はまだよく聞かれ、時々近くで姿も見られます。

●ツグミ:数は少ないですが「キュキュッ」という声が聞かれます。

1月から2月にかけて亜種ハチジョウツグミが見られました。(右写真上)

●キクイタダキ:今月は見られる機会が多そうです。

●キバシリ:「チリチリチュリ」という囀りも今年は少ないです。

●ハシブトガラ:囀りまだ聞かれます。(右写真下)

●ヤマガラ:「チーリーツー」とワルツの囀りが聞かれます。

●ヤマゲラ:「ピョッピョッピョッピョッ」と大きな声がよく聞かれます。

●クマゲラ:旭山ではこの冬も時折近くで見られています。



イスカ
今年は
情報ゼロ

植物の名前を忘れる・・・

自然愛好家の間で春を迎える前のこの時期になるとよく言われること。

「植物の名前を忘れた」

雪に覆われた北海道の長い冬。緑色の植物の葉を見ることはほとんどない。

雪より高い樹木であれば冬芽を見ることができますが、草本は完全に雪の下。

春を迎えて今年はこの花はどうだろう、別の場所はどうかななどと話していると、「あああれね」と言ったきり花の名前が出てこない。

もちろん冬の間も本やネットなどで花を見続けている人も多いでしょうけれど、植物とりわけ花から心が離れていると、どうしても名前を忘れがちになってしまいます。

そこで3月は「花のリハビリ期間」、本やネットで花の写真を見たり植物が好きな仲間と話をしながら思い出し、頭を活性化させる時期にするというのはいかがでしょうか。

大丈夫、一度覚えたものはちょっとしたきっかけですぐに思い出します。

「花のリハビリ期間」、冬が長い北海道の「楽しみ」のひとつかもしれないですね。



さて、この花は？・・・(正解は下に)

(正解:エゾエンゴサク)

編集 後記

2月にスノーシューで歩いていて、大きなスズメバチの巣を見つけました。最も近い散策路まで20m離れたイタヤカエデの木にありましたが、道から遠かったため夏の間は巣の存在には気づきませんでした。春を通り越して夏にはまたスズメバチにも注意が必要です。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第40号 2017(平成29)年3月4日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>